

☆上手につくるポイント☆

台風対策

台風などの強風の時
バケツ稲を屋内の冷房
が効いていない場所に
移動させましょう。

スズメ対策

稲の周りに園芸用
の支柱をたて、隙間
がないように網をは
ります。

水温管理

水は20～30℃が
適温です。水温が高
くなりすぎる場合
は、水を入れかえま
しょう。

病害虫対策

はん点などが出た病気の葉や、害
虫はその場で取りのぞき、病気の稲
は離して育てます。バケツの水にボ
ウフラが発生した時は、水と一緒に
流し出して新しい水に入れ替えます。



登呂博物館では
バケツ稲を育てる
様子を随時 twitter で
アップしているよ！

詳しくはバケツ稲を育てる様子を Twitter で紹介しているので見てね♪
アカウント名：torohaku_torobe

静岡市立登呂博物館

開館時間 | 9:00 - 16:30

休館日 | 月曜日・祝日の翌日

観覧料 | 一般 300円 高校・大学生 200円 小中学生 50円



〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 5-10-5

Tel.054-285-0476 Fax.054-287-1466

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



参加体験ミュージアム！
静岡市立登呂博物館
Shizuoka City Toro Museum



赤米



バケツ稲づくりマニュアル

観察しながら稲を育ててみよう

材料

赤米・バケツ 2つ (15 リットル程度)・平たい皿・土 (園芸用でも可)
肥料 (必要に応じて)・網・ハサミ・すり鉢・すりこぎ棒

バケツ稲づくりカレンダー (赤米)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12～3月
バケツ稲		芽出し 種まき		苗のうつつかえ	中ぼし	出穂 スズメ対策	落水・稲刈り	脱穀 もみすり	
		← 水の調整 →							
たんぼ (手植え)		種もみの選別 殺菌 芽だし		種まき 田おこし 代かき 田植え	あぜ草刈り たんぼの 草とり	出穂 スズメ対策	脱穀 もみすり 来年の準備	来年用の種もみとり 稲刈り	天日干し
		← 水の調整 →							

1

芽出し（5月中旬から下旬）

- ① シャーレや平たい皿に、種もみがひたるくらいの水を入れます。
- ② 種もみをひたし、あたたかく、日の当たらない場所においておきます。
- ③ 種もみに酸素さんそがいきわたるよう、水は毎日とりかえましょう。
- ④ 白い芽と根が1～2mmくらい出たら、種まきできます。

2

種まき（6月上旬）

- ① 乾燥させた土かんそう（園芸用でも可）と肥料ひりょう（必要に応じて）をバケツにいれ、水とまぜます。（泥状にしても可。詳細はTwitterでも紹介します。）
- ② 芽だした種もみを1粒ずつはなしてまき、深さ6mmくらいまで指を押し込んで土をかけます。
- ③ バケツを日当たりの良いところに置きます。土が乾いたら表面がしめるまで水をまきます。
- ④ 5～10日で芽が出ます。苗の先がつねに水から出ているくらいに水をまきましょう。



泥状にした土

3

苗のうつつかえ（6月）

- ① 葉が3～4枚になったら、根を切らないように、まわりの土ごと苗をぬきます。
- ② 茎が太く育ちのよい苗を4～5本選び、バケツの中央に2cmの深さに植えなおします。
- ③ 土の上から、1cmの深さになるように水をはります。
- ④ 茎や葉にピンと張りが出たら、水の深さを5cmほどにします。

4

草とり

しばらくすると、雑草がたくさん生えてきます。こまめに草取りをしましょう。

5

中ぼし（8月ごろ） ※バケツ稲では排水できないため

- ① 稲の茎が20本くらい、草丈が40～50cmくらいになったら、バケツの水をいったんぬき、雨が入らない軒下などに移動させます。
- ② 土とバケツの間にすき間ができるまでかわいたら、少しずつ水を入れます。
- ③ 水がなくなったら、また土の上から2cmまでの水を入れます。
- ④ ②・③を4回繰り返した後、5cmの水を入れて保ちます。

中ぼしの注意点

・雨が入らず、風通しの良い屋外に移してください

※狭い容器のバケツ稲での中ぼしは、乾かしすぎに注意が必要です。葉が細くまるまって針状はりになったり、色が黄色くなってくると水分不足です。すぐに水を入れて中ぼしを終了してください。気温によっては1日で枯れる場合がありますので、よく観察しながら行いましょう。

6

出穂（9月ごろ）

しばらくすると、イネは葉を増やすのをやめ、穂のもととなる幼穂（ようすい）が育ちます（穂ばらみ）。やがて、稲が最後に出す葉につつまれて穂が出始め、2～3日で穂の全体があらわれます。



穂ばらみの様子

7

稲刈り（10月後半）

- ① 出穂から30日後くらいに水を抜きます。（落水らくすい）
- ② 出穂から40～50日後くらいに、稲を刈りましょう。
- ③ 稲を刈り取ったら、穂を下にして根元をしぼり、風通しがよい場所で10日ほど干します。

8

脱穀・もみすり（10月後半）

- ① ハサミで稲のくきを切ります。
 - ② 切った稲をすり鉢に入れて、すりこぎ棒で脱穀ともみすりを行います。
- ※ 詳しくはTwitterを見てね！

赤米コンテスト11月1日（日）

どれだけ収穫できたかな？
収穫量コンテストを実施します！

10月1日（木）から
エントリースタート♪